

特集 1 : 2014北東アジア経済発展国際会議(NICE) イン新潟 プログラム

開催日 2014年1月29日(水)～30日(木)

会場 朱鷺メッセ(新潟市中央区)国際会議場(マリンホール)

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会(新潟県、新潟市、ERINA)

後援 外務省、経済産業省、国土交通省、新潟大学、駐日中華人民共和国大使館、駐日モンゴル国大使館、駐日大韓民国大使館、駐日ロシア連邦大使館、一般社団法人東北経済連合会、一般社団法人新潟県商工会議所連合会、新潟経済同友会、日本海沿岸地帯振興連盟、公益財団法人にいがた産業創造機構、一般社団法人新潟青年会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟日報社、毎日新聞新潟市局、朝日新聞社、日本経済新聞社新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

参加者 のべ300名

■オープニングセッション

1月29日(水) 13:00～15:30

○歓迎あいさつ

新潟知事
新潟市長

泉田裕彦
篠田昭

○来賓あいさつ

駐日モンゴル国大使館特命全権大使
外務省欧州局日露経済室長
(代読:外務省欧州局日露経済室首席事務官(室長代理))
経済産業省通商政策局ロシア・中央アジア・コーカサス室長

S. フレルバートル
石川誠己
松尾浩樹
関淳夫

○基調講演

「製品開発と人材マネジメントの日中韓比較」
一橋大学経済研究所教授
「中ロエネルギー協力」
オックスフォード・エネルギー研究所主任研究員
「北東アジア経済協力への新たなアプローチ:GTIの見方」
国連開発計画(UNDP)大図們江イニシアチブ(GTI)事務局代表

都留康
パイク・ダンウク
チェ・フン

■セッションA ロシア経済と日ロ交流

1月29日(水) 15:45～17:45

○報告

ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所所長
ERINA調査研究部主任研究員
株式会社国際協力銀行代表取締役専務取締役
ロシア外国貿易銀行ハバロフスク支店長
ERINA経済交流部部長代理

パーベル・ミナキル
新井洋史
前田匡史
エフゲニー・オルロフ
酒見健之

○モデレーター

ERINA副所長

杉本侃

■セッションB TPPと日中韓

1月30日(木) 10:00～12:00

○報告

慶應義塾大学経済学部教授
東アジア・アセアン経済研究センターチーフエコノミスト
仁荷大学校静石流通通商研究院院長

木村福成
チョン・インキョ

中国社会科学院APEC・東アジア協力研究センター副主任・秘書長
 ピーターソン国際経済研究所シニアフェロー
 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹
 杏林大学総合政策学部専任講師／ERINA共同研究員

沈銘輝
 ジェフリー・ショット
 山下一仁
 久野新

○モデレーター

ERINA調査研究部主任研究員

中島朋義

■セッションC 転換期を迎えた中国経済

1月30日（木）13：30～15：30

○報告

専修大学経済学部教授
 日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員
 島根県立大学総合政策学部教授
 韓国対外経済政策研究院（KIEP）新興地域研究センター中国チーム長

大橋英夫
 大西康雄
 張忠任
 ヤン・ピョンソプ

○モデレーター

ERINA調査研究部研究主任

朱永浩

■クロージングリマーク

1月30日（木）15：30～15：45

北東アジア経済発展国際会議実行委員長、ERINA代表理事

西村可明

本特集は、「2013北東アジア経済発展国際会議イン新潟」の内容を当日の録音及び資料をもとにまとめたもので、文責はERINAにある。関係各国名は中華人民共和国を中国、朝鮮民主主義人民共和国を北朝鮮、モンゴル国をモンゴル、大韓民国を韓国、ロシア連邦をロシアとそれぞれ表記した。また、各人の発言における日本海／東海の呼称やその他固有名詞に関しては録音をもとに表記した。なお、北朝鮮・韓国では「日本海／Japan Sea」を「東海／East Sea」と表記している。